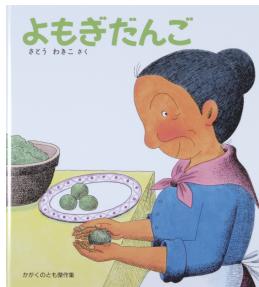
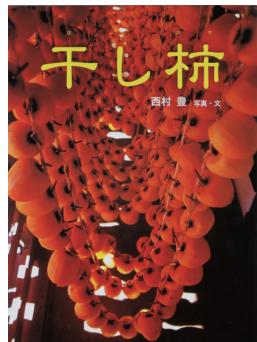

暮らしの中の科学技術



よもぎだんご (かがくのとも傑作集)
さとうわきこ／作

福音館書店 1989年 900円

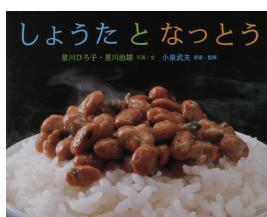
ばばあちゃんが、子どもたちと一緒に野草採りをします。つくし、なすな、よめな、のびる、せりは胡麻和えに、よもぎはよもぎだんごに、草のお料理をつくります。今日は、ばばあちゃんのお誕生日なのです。



干し柿 (あかね・新えほんシリーズ 30)
西村豊／写真・文

あかね書房 2006年 1200円

すらりとつるされた渋柿が、太陽の光を浴びて輝いています。やがて自然の力と人の手をかりて、甘い干し柿ができます。昔の人の知恵が息づく伝統の食文化“干し柿”。干し柿つくりに挑戦したくなる写真絵本です。



しょうたとなっとう (ふしぎいっぱい写真絵本 2)
星川ひろ子・星川治雄／写真・文
小泉武夫／原案・監修

ポプラ社 2003年 1200円

ネバネバで納豆が大嫌いになったしようたが、おじいちゃんと大豆を植えました。収穫した大豆を蒸して、わらに包み粉殻の中に埋めておくと…。温かいおじいちゃんの目がしようと注がれます。大豆の成長、収穫から納豆つくりまでがよくわかる写真絵本です。

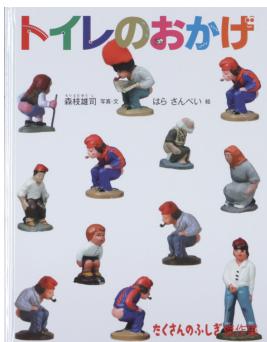


きみの家にも牛がいる

小森香折／作
中川洋典／絵

解放出版社 (エルくらぶ) 2005年 2000円

牛が屠畜、解体され、牛肉となって私たちの食卓に届くまでの過程が、ユーモラスな絵と共に詳しく語られます。牛は、肉や乳だけでなく、皮や角や骨、脂肪まで加工され、私たちの生活の身近で利用されているのです。きみの家にはどこに牛がいますか？



トイレのおかげ (たくさんふしき傑作集)

森枝雄司／写真・文
はらさんべい／絵

福音館書店 2007年 1300円

人とトイレの付き合いは、地域により時代によりさまざまです。「落とす」「投げ捨てる」「売る」「食べさせる」「吸い取る」など、古今東西のトイレ事情が、豊富な写真とユーモラスな絵と共に紹介されます。興味津々のトイレ文化考にもなる一冊です。



マグロをそだてる

世界ではじめてクロマグロの完全養殖に成功！

熊井英水／監修
江川多喜雄／文
高橋和枝／絵
アリス館 2009年 1400円

クロマグロは、“海のダイヤ”とも呼ばれる高級魚です。近畿大学水産研究所が、不可能と言われていたクロマグロの完全養殖に取り組み、32年目に世界ではじめて成功しました。“ヨコワ”と呼ばれるクロマグロの子どもを生簀に入れ育て、その魚の産んだ卵を人工孵化させ育てる完全養殖成功までの道のりを知ることができます。



ふるふる かたまる ふしぎ
(絵本 おもしろふしぎ食べもの加工 1)
生活環境教育研究会／編

農山漁村文化協会 2003年 2000円 ★シリーズ全5巻

どうして食べ物をわざわざ固めて食べるようになったのでしょうか。食品をそのまま食べるのではなく固めて食べるようになった理由や、ゼラチン・寒天・消石灰・ペクチン・にがりなど、固めるための材料ごとの加工の仕方を丁寧に説明しています。「おもしろふしぎ食べもの加工」シリーズの一冊です。



紙の歴史 ('紙'の大研究 1)

丸尾敏雄／監修
樋口清美／構成・文

岩崎書店 2004年 2800円 ★シリーズ全4巻

紀元前の中国で生まれた紙。その製法は、当初門外不出で秘密にされていました。渡来人によってわが国に伝えられた紙が、完成度の高い和紙になるまでの歴史を、和紙と洋紙の交流や、西洋に伝わった製紙法の変遷も含めて、時代を追って紹介します。本書には表紙を除いて4種類の紙が使用され、手触りや色の違いを体験できるように工夫されています。



おいしいハンバーガーのこわい話

エリック・シュローザー、チャールズ・ウィルソン／著
宇丹貴代実／訳

草思社 2007年 1300円

「ハンバーガーはこうして生まれた」「フライドポテトの秘密」「ファストフード中毒」など、おいしいハンバーガーにかくされた、知らなくてはいけない“こわい話”が書かれています。『ファストフードが世界を食いつぐ』をティーンエイジ向けに書き直した1冊です。